

# 4年生オリエンテーション

(対象：学士特定課題研究を本学期に履修予定の学生)

融合理工学系

系主任 花岡 伸也

カリキュラム担当 山下 幸彦

# 卒業要件

## 全学共通の要件（概要）

授業科目区分	必要単位数
文系教養科目	13単位
英語科目	9単位
理工系教養科目	14単位
第二外国語科目	4単位
系で定める単位	次ページ
計	124単位

それぞれの授業科目区分で細かい条件があるので、  
入学年度の「学士課程学修案内」を参照すること。

<https://www.titech.ac.jp/enrolled/life/resources/>

# 融合理工学系の卒業要件

1. 付表中の科目のうち、系専門必修科目（◎）30単位を全て修得していること。
2. 付表中の科目のうち、研究関連科目の「研究プロジェクト」「学士特定課題研究」を修得していること。
3. 付表中の科目のうち、専門科目群から**50**単位以上修得していること。
4. 合計**124**単位以上を修得していること。

こちらも入学年度の「学士課程学修案内」を参照すること。  
学士課程学修案内から「融合理工学系学修課程」をクリック。

<https://www.titech.ac.jp/enrolled/life/resources/>

# 学士特定課題研究

- **目的**：特定のテーマについて理論，実験，調査，計画等の諸手段を総合し，それまでに養成した学力を結集して専攻科目をより深く理解し，あわせて研究のまとめ方，報告書の作成及び発表の方法等を修得すること。
- 研究テーマなど具体的な内容は指導教員と相談する。
- 研究報告書を指導教員に提出する。
  - 社会的意義を記述する。
  - 必要ならば倫理的な検討結果を記述する。
- 研究発表会（8月と2月に開催）で，発表・質疑討論を行う。
- 4年生の1Qまたは3Qから着手できる。6か月間以上。
- 9月卒業を目指してできなかった場合，東工大の大学院入試で**9月入学で合格しても4月入学に変更できない。**

# 学士特定課題研究申請書

- 学士特定課題研究を開始するときは、その学期の初めに「学士特定課題研究申請書」を提出することが提出が必要。
- 通常の締切は4月中旬（1Qから開始の場合）、10月初旬（3Qから開始の場合）
- 様式は下記URLからダウンロードする  
[https://www.titech.ac.jp/enrolled/certificates/submitting/forms\\_current.html](https://www.titech.ac.jp/enrolled/certificates/submitting/forms_current.html)
- 「研究題目」を指導教員と相談すること。

# 学士特定課題プロジェクト

- **目的**：学士特定課題研究を終えた後，学士特定課題研究をさらに深める。
- 原則として，特定課題研究と同じ研究室に所属して実施。
- ただし，**修士課程入試に合格して指導教員が決まっております，学士特定課題研究の指導教員と異なる場合**，希望すれば主指導教員（単独指導も可）とできる。
- 上記以外の理由で，学士特定課題プロジェクトを実施する研究室を変更したい場合は，指導教員および系主任教員と相談すること。
- 提出物や発表などは研究室ごとに決定するので，詳細は指導教員に尋ねること。

# 時間割（予定）

- 日本語：  
<http://www.tse.ens.titech.ac.jp/ja/2020/classtimetable/>
- 2020年度から日本語／英語に分かれていた200番台の講義は同時間帯に同時開講。
- 新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の関係で、通常的时间割から一部変更されている。今後も変更される可能性があるので注意すること。

# 新型コロナウイルス対策

- 相談があれば指導教員に随時連絡する。
- 1Q期間中，講義はインターネット会議用ソフトウェア ZOOM によって行う。
  - 原則，自宅で受講する。
  - パーソナルコンピュータを用意する。
  - 自宅のブロードバンドインターネット環境を整備する。
  - パーソナルコンピュータの用意や自宅のインターネット環境の整備が難しい場合は，指導教員に相談する。